

# 城西大学水田記念図書館選書の基準

平成2年6月27日  
平成22年4月1日一部修正  
平成25年11月13日第17項追加  
令和2年5月19日第17項一部修正

1. カリキュラムに関連している講義用参考資料
  - 1) 本学の「講義要項」、「シラバス」に掲載された参考図書。
  - 2) 講義に関連した推薦図書（基本図書、入門書、学説史書、概説書等。）
  - 3) 「卒論」に関連した図書（基本図書、研究方法論書等。）
2. 各分野の研究・調査活動に必要な専門図書、新刊図書  
各分野の古典、学術論文、調査報告、逐次刊行物、各種参考資料、原文献等及び専門雑誌等で推薦された新刊図書。
3. 教養図書、新刊図書  
全集、叢書、講座等で基礎的学力及び視野の拡大に資すると評価すべきもの、有力な新聞、雑誌等で推薦された新刊図書
4. 改訂版、増補版、続編、別編  
あらゆる分野に目を向け、たえず出版情報をみて収集する。
5. 本学の発行物
6. 本学の教職員及び関係者の著作
7. 大学関係資料  
世界各国の大学及び大学教育に関する資料。
8. 学生の希望図書  
利用者のアンケートで複数以上を求めるものについては、館内の選書会にはかり、図書館選書委員会を経て館長の承認で決定する。
9. 留学生用資料  
日本語及び日本文化学習のための資料。
10. 広範な参考資料  
書誌、索引・抄録（二次資料）、百科事（辞）典、言語辞書、専門辞典、用語集便覧、ハンドブック、人名事（辞）典、人名録、名簿、年表、地図、図鑑等。
11. 各種参考資料
  - 1 1. 各種参考資料  
各種年鑑、白書（各省庁等）、統計書（日本の政府統計、主要各国の政府統計等）  
学会・協会刊行資料、大学・研究機関関係刊行資料、判例集、各種各国新聞。
  - 1 2. 逐次刊行物
    - 1) 本学にある各分野及び各教科の代表的なもの、利用頻度が高いもの。
    - 2) バックナンバーは、計画的に利用度の高いもので、電子化されたものがあればそれを優先する。
  - 1 3. 視聴覚資料・マイクロ資料等  
各分野の適正に合わせ且つ内容、利用状況、保存など考慮する。官報、各地方紙など。電子化されたものがあればそれを優先する。

1 4. 稀覯資料

本学の各分野及びそれ以外の独自の且つ特色のあるコレクション類。

1 5. 電子ジャーナル、電子ブックなどの電子媒体資料

1 6. 寄贈図書、紀要、雑誌等

本学の収書方針に照らし合わせて取捨選択をする。

1 7. マンガ、コミックについては教育・研究上に必要な理由書を提出後、その内容を  
選書委員会で審議する。(令和2年5月19日運営・選書合同委員会決定)

以上